事業番号	16　01　03

事業改善シート（29年度実施事業分）

■当初要求　□当初予算案　□補正予算案　□点検

事　業　名	災害警備対策推進事業	部局	警察本部	課・室	警備部
		実施期間	S29 ～	E-mail	police-keibidaini@pref.nagano.lg.jp

しあわせ信州創造プラン（総合5か年計画）	
プロジェクト	
施策の総合的展開	4－1　地域防災力の向上 1　危機管理体制の整備

1　事業の概要

現状（予算編成時）	県内は、東海地震及び南海トラフ地震、さらには糸魚川-静岡構造線断層帯等の活断層による大規模地震の発生が危惧されるほか、山地が8割を占め、地形が極めて複雑急峻であることから、大雨等による土砂災害発生の危険性も高い。	29年度要求額	43,660 千円
		職員数	-
目指す姿	大規模災害発生時に、迅速かつ的確な初動対応を行うため、精強な救助部隊の構築を図るとともに、救出救助能力の向上、装備資機材の継続的な整備及び災害警備本部の機能強化等により災害への対処能力を高める。 （主な実施内容：災害警備用装備資機材の整備　など）		

事業コスト

区　分（単位：千円）		27年度	28年度	29要求	29予算案
予算額	前年度繰越				
	当初予算	45,849	35,029	43,660	
	補正予算				
	合計（A）	45,849	35,029	43,660	0
Aの財源	一般財源	45,731	34,911	38,447	
	県　債				
	国庫支出金	118	118	213	
	その他	0	0	5,000	0
決　算　額（B）		44,934			
概算人件費	職員数（人）				
	概算人件費（C）	0	0	0	0
概算事業費（B（A）+C）		44,934	35,029	43,660	0

指標及びその達成状況

No	成果指標	27年度末	28年度末（見込）	29年度 目標値	29年度 成果	29年度 達成状況
①	装備資機材の整備等により、災害時に迅速かつ的確な救出・救助体制を確保する。					

成果指標設定理由	①　大規模災害から、県民の生命、身体及び財産を守るため、災害警備活動に必要な装備資機材の継続的な整備等を行い、災害時に迅速かつ的確な救出・救助体制を確保する必要がある。

指摘事項等への対応	指 摘 事 項	対　応
□監査 □決算特別委員会 □県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	

2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度　実施内容（予定）	職員数（人）	28年度（当初）	29年度（要求）	29年度（予算案）
1		災害警備対策事業	○ 迅速な警備体制の確立と救助技能向上のため、各種災害警備訓練を実施 ○ 様々な災害に対処できる装備資機材の整備 ○ 総合指揮室（災害警備本部）の機能強化		35,029	43,660	
			合計	0.00	35,029	43,660	0